

サツマイモを栽培されている皆さんへ

県内のサツマイモ栽培ほ場で、

もとぐされびょう

「サツマイモ基腐病」が確認されましたので、注意してください。

「サツマイモ基腐病」とは？

- サツマイモが基腐病菌(カビ)※に感染することにより、株の立枯れや塊根(イモ)の腐敗症状が発生する病害で、貯蔵中のイモにも発生します。

※ *Diaporthe destruens*(ディアポルテ・デストルエンス)

- 本菌は、サツマイモ、アサガオなどヒルガオ科の植物のみに寄生し、他の農作物に感染することはありません。

特徴的な症状

- ✓ 葉が赤や黄に変色(症状が進むと枯死)
- ✓ 茎の地際部が暗褐色～黒色に変色
- ✓ 主に“なり首側”(茎のつけ根側)からイモが腐敗



感染し、なり首側(左側)から腐ったイモ(徳島県撮影)



なり首側が腐ったイモ(徳島県撮影)



葉が赤変・黄変



株元の根の黒変



茎葉の枯れ

■ 基腐病の生態

基腐病がほ場で発病すると、発病部位に大量の孢子が形成され、降雨による停滞水等により、孢子が移動して周辺の株に感染が広がっていきます。



枯死した茎葉上に多数の柄子殻を形成(徳島県撮影)

うら面をご確認いただき、
適切な防除対策に取り組みましょう

次の作付けに向けて、適切な防除対策に取り組みましょう

病原菌をほ場に持ち込まないために

- 自家採取の種イモ、出自不明の苗は、使用しない
- 苗床で基腐病が疑われる症状を確認したときは、土壌ごと抜き取り処分
- 苗は、株の地際部から5cm以上切り上げて採取 **ハサミはこまめに消毒**
- 苗は、植付け前に**殺菌剤で消毒** **消毒液は当日調製**

薬剤名	使用方法
ベンレート水和剤	500～1000倍、植付前 30分間苗基部浸漬(1回)
ベンレートT水和剤20	200倍、植付前 30分間さし苗基部浸漬(1回)



苗の浸漬消毒(30分間)
(徳島県撮影)

病原菌をほ場で増やさないために

- ほ場の明渠、ほ場外の排水路の点検など排水対策の徹底
- 作業後の機械、長靴などを洗浄し、病原菌の拡散を防止
- サツマイモ以外の作物の輪作、休耕の実施など**連作の回避**
- 基腐病が疑われる株を発見したときは、直ちに除去し、適切に処分
- 農薬による初期防除の徹底

薬剤名	使用方法
ジーファイン水和剤	1000倍、200～300ℓ/10a散布 (収穫前日まで)
アミスター20フロアブル	2000倍、100～300ℓ/10a散布 (収穫14日前まで、3回以内)
Zボルドー	500倍、100～300ℓ/10a散布

病原菌をほ場に残さないために

- 屑イモ、諸梗(茎とイモをつなぐ部分)、茎葉は**ほ場外に持ち出し**、適切に処分
- 土壌の病原菌を殺菌消毒

薬剤名	使用方法
バスアミド微粒剤	30kg/10a、均一に散布して土壌と混和 (植付け21日前まで、1回)
ガスタード微粒剤	

収穫したイモの選別・出荷

- 貯蔵中の保管庫を確認し、疑わしいイモは除去し、適切に処分

「サツマイモ基腐病」に関するお問合せは
最寄りのJA または 農業支援センター、病害虫防除所まで